

2025年8月27日
6633 TSE Standard

2025年12月期
第2四半期（中間期）
決算説明動画配信

株式会社CGSホールディングス

目次
Index

01	会社概要	…3
02	2025年12月期 第2四半期（中間期） 決算概要	…12
03	組織再編について	…19
04	2025年12月期 通期業績見通し	…24
05	株主還元について	…26

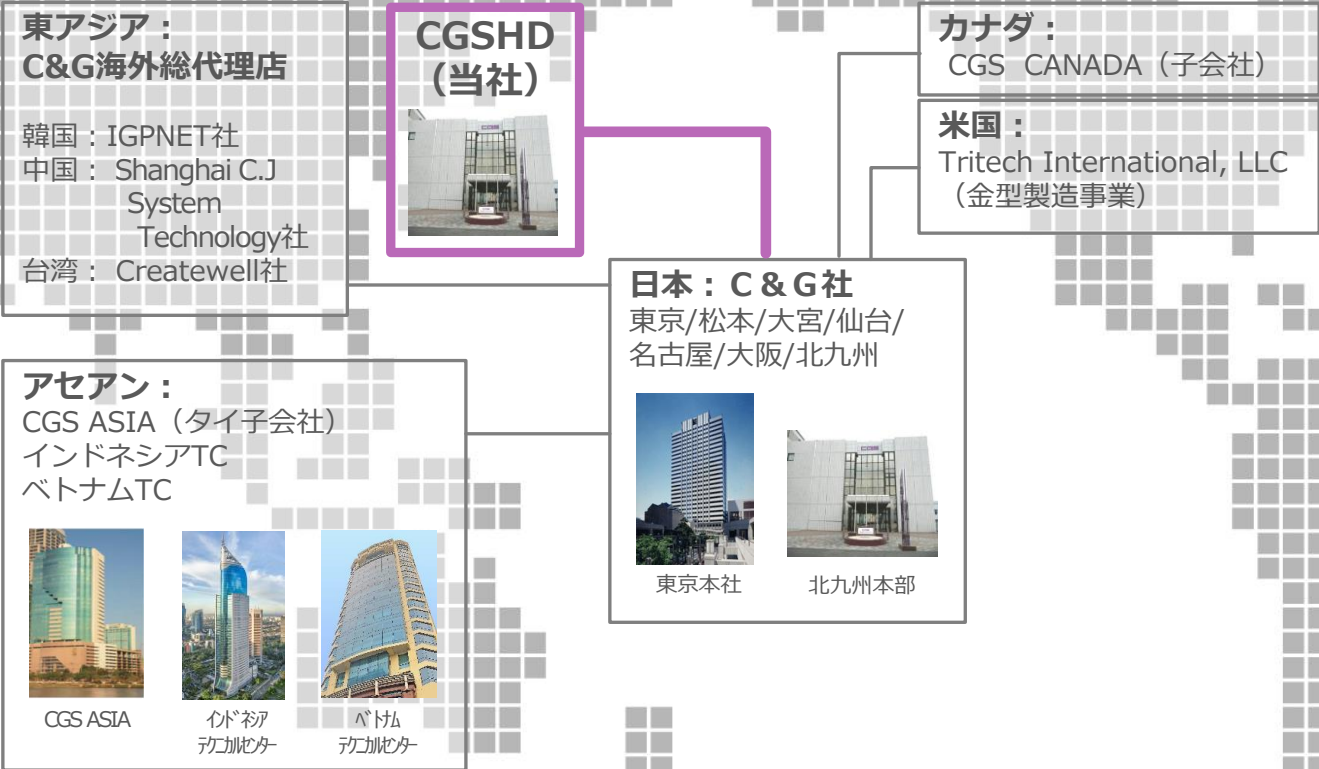
01

会社概要

会社概要

商号	株式会社CGSホールディングス（6633） 【CGSHD】
主力事業	CAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポートを行う企業グループの企画・管理・運営（純粋持株会社）
所在地	（本社） 福岡県北九州市八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近連結業績 （2024年度）	売上高：39億27百万円 営業利益：1億58百万円
主要子会社および 事業所	株式会社C & G システムズ【C&G社】 国内7拠点 （東京/北九州/大宮/名古屋/大阪/松本/仙台） 海外2拠点（インドネシア、ベトナム） 海外事業子会社3社 （タイ/カナダ/米国 [金型製造]） C&G海外総代理店3社 （韓国/中国/台湾）
連結社員数	253名（2025年6月末現在）

国内外ネットワーク



※TC=テクニカルセンター



Group's Philosophy 企業理念

生産性の限界に挑戦する

Activity policies 活動方針

1. お客様の満足と安心を第一主義とする
2. 経営資源を効果的に利用し継続的发展を図る
3. 笑顔を絶やさず信念と希望に満ちた行動を続ける
4. 豊かな創造力を育み働く喜びを持てる企業文化を創る

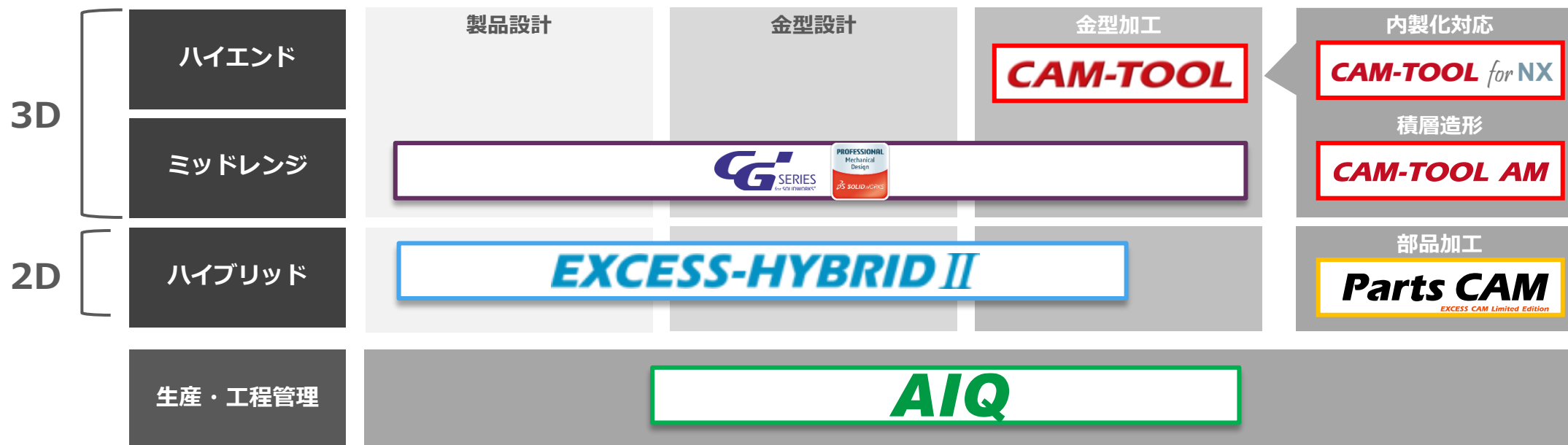
Group vision グループビジョン

Global Niche Top

～「金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAM」というニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す～

グループ企業の主要製品および導入実績

製品ポジショニングマップ



累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

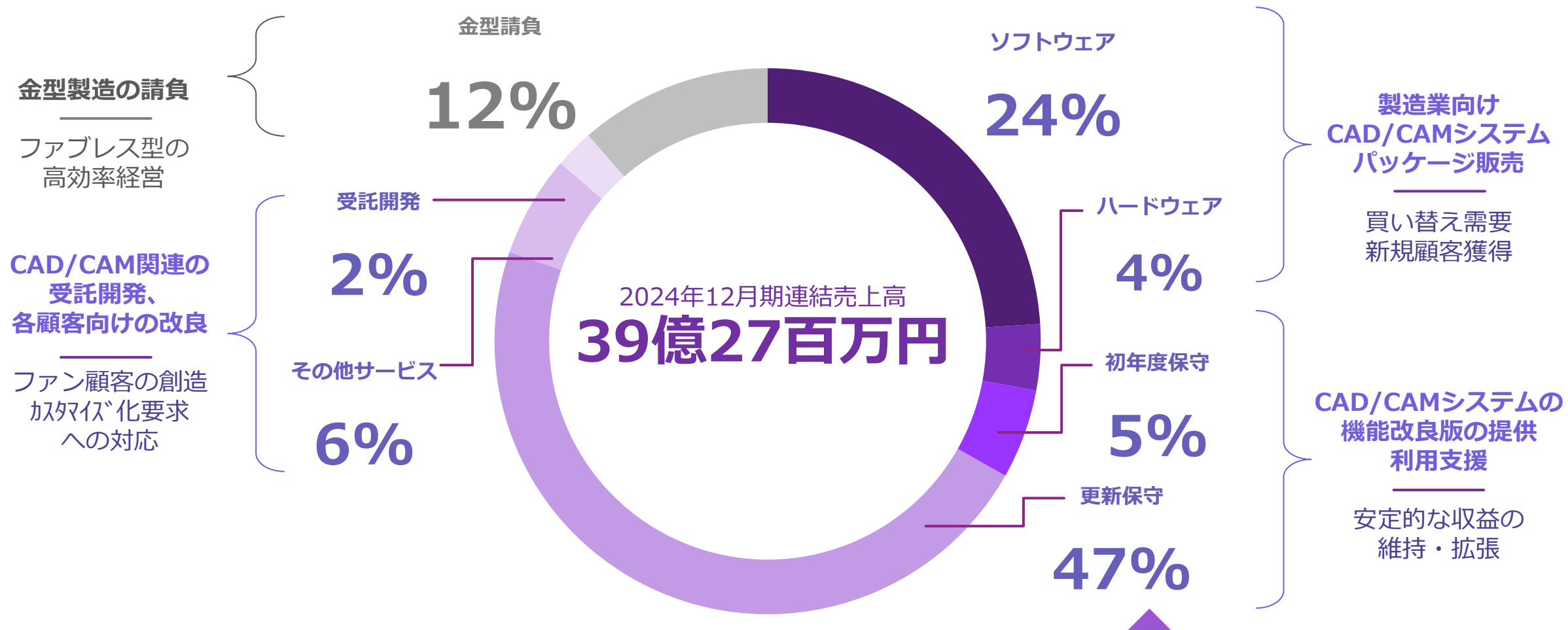
国内
6,000
事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 TMW デンソー ヤマハ発動機 三光合成 三菱重工 マツダ
 深江工作所 三井ハイテック タカギ エスバンス パナソニック オムロン シマノ がまかつ
 CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気
 本田技研工業 アルプスアルパイン ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外
1,000
事業所

LG電子 サムソン電子
 現代自動車 DOOSAN機械
 FOXCONN teleflex
 Medical
 友達光電 AMTEK

主力事業：金型向けCAD/CAMシステムの開発・販売・サポート



CAD/CAMシステム等事業の約5割を更新保守で構成

地域別（仕向地別）売上高

連結売上高 39億27百万円
(2024年12月期)

日本
CAD/CAM
75.3%

アジア
CAD/CAM
10.7%

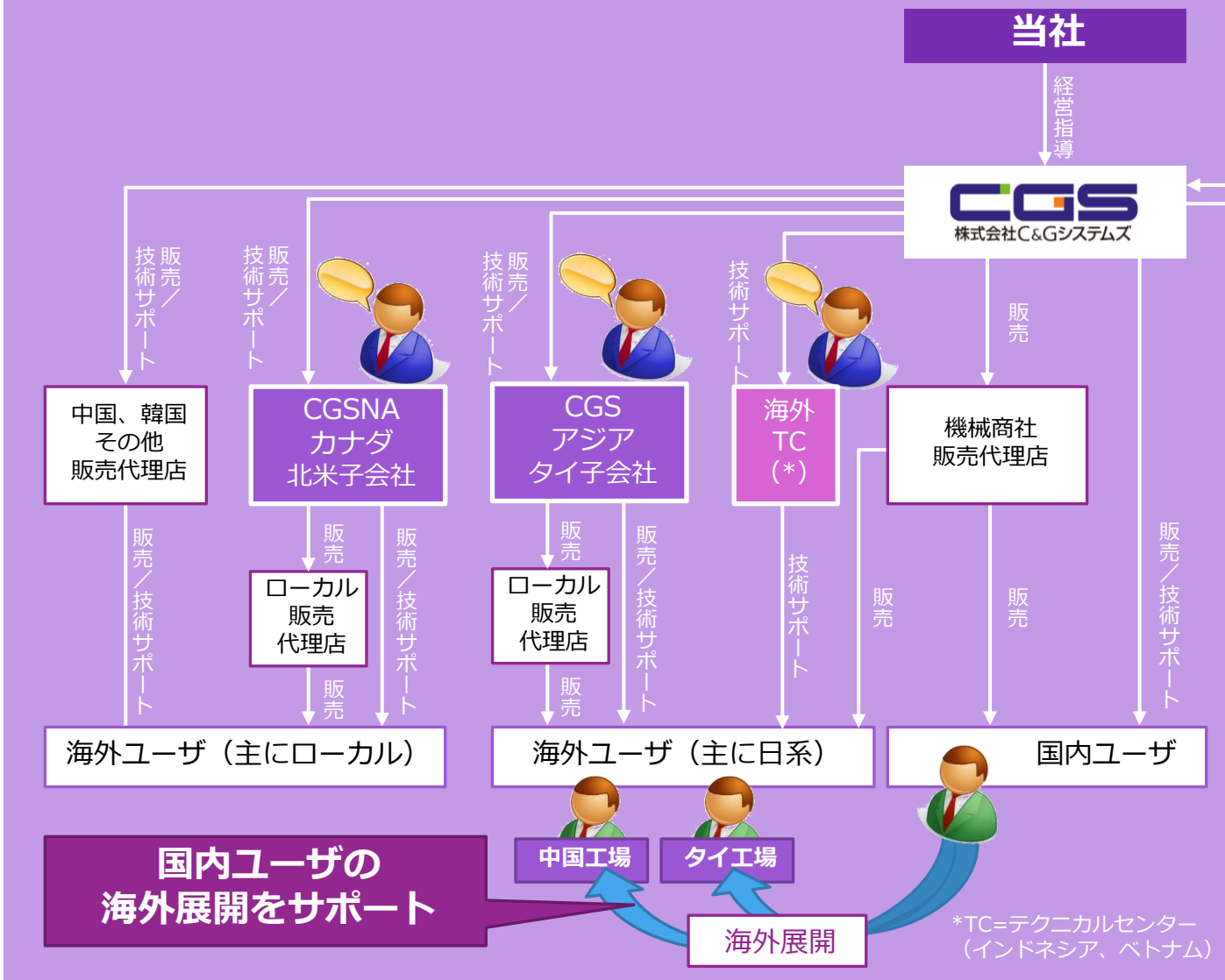
北米その他
CAD/CAM
2.6%

北米金型
11.4%

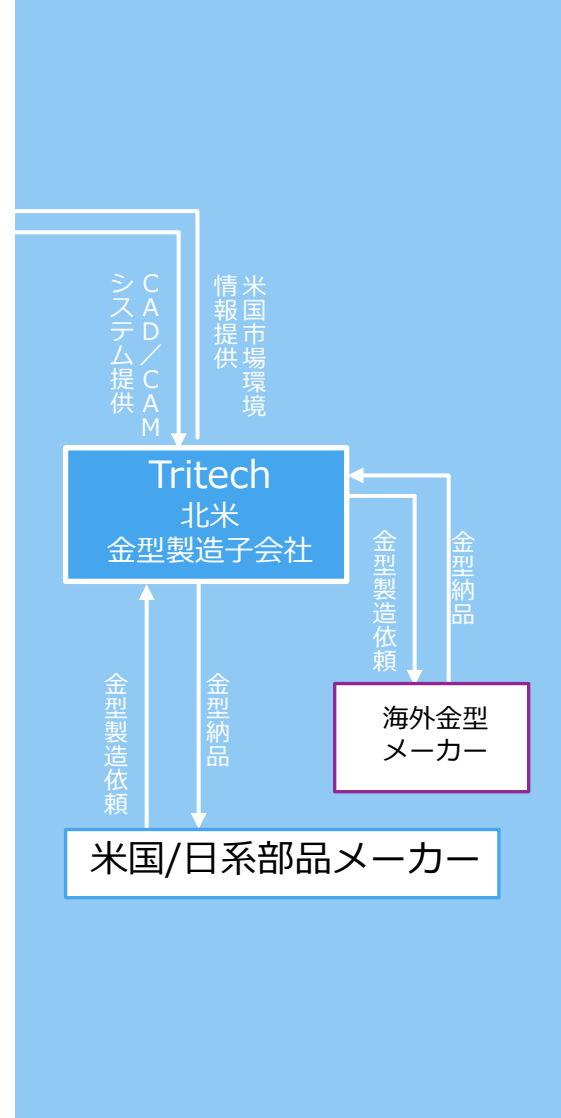
- ・ 海外販売割合（仕向地別）は24.7%（2024年12月時点）
- ・ 海外については技術代理店、事業拠点の拡充による地域完結型事業モデルを推進

事業系統図

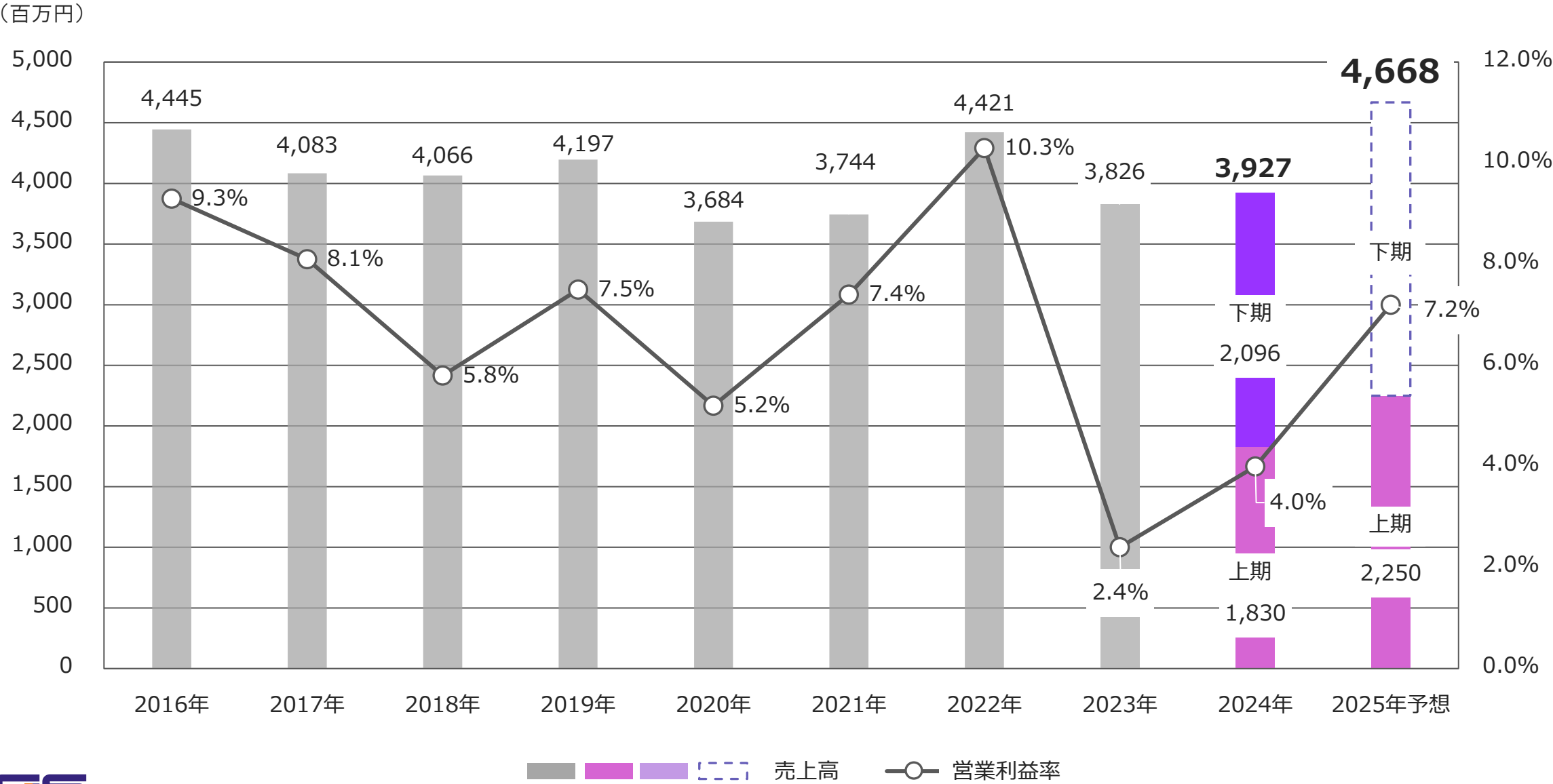
CAD/CAMシステム等事業



金型製造事業



連結業績の推移



02

2025年12月期第2四半期 (中間期) 決算概要

CAD/CAM事業は堅調な推移／金型製造は大幅な収益改善

売上高

22億50百万円

前年同期比 +22.9%

CAD/CAMシステム等事業

- ・ 主な利用先である自動車向け金型・部品製造業において中小企業を中心にEV化の方向性の不透明感および米国の関税政策等への不安感から設備投資に対する慎重姿勢が継続
- ・ 部品加工市場向けCAD/CAMシステムおよび金型・部品製造業向け生産管理システムの販売強化に加え、一部既存OEM先へのライセンス売上等も貢献し、総じて製品販売は堅調に推移。海外ではベトナムの大型案件が寄与
- ・ 保守売上は引き続き高い保守更新率を維持し、国内海外ともに堅調に推移

金型製造事業

- ・ 2024年下期の受注動向が堅調であったことに加え、顧客都合による納品延期案件が当第2四半期に納品され大幅増収

営業利益

1億95百万円

前年同期比 +255.9%

CAD/CAMシステム等事業

- ・ 売上増により営業利益率は前年同期比で1.3ポイント改善

金型製造事業

- ・ 売上大幅増により営業黒字に転換

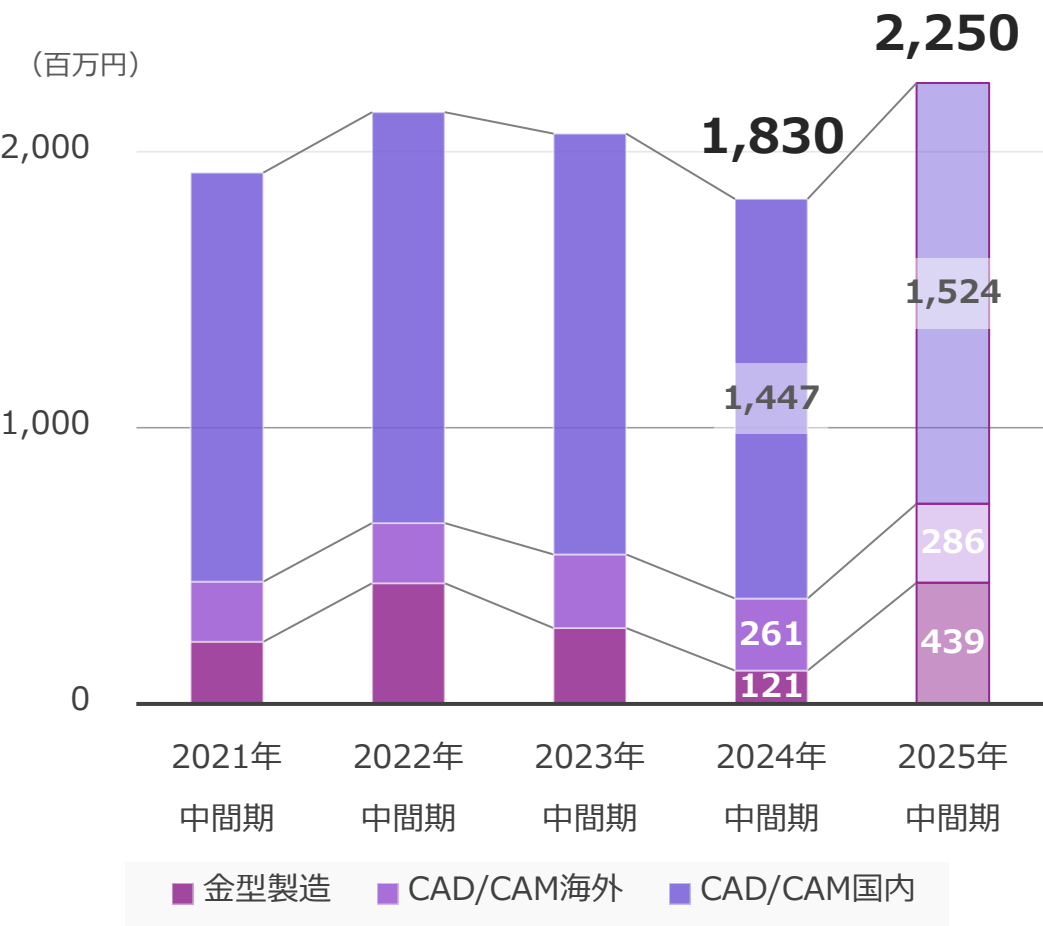
業績概要

	2025年 中間期実績	売上比	2025年 中間期計画	計画比	
				増減額	増減率
売上高	2,250	100.0%	2,306	△55	△2.4%
営業利益	195	8.7%	214	△19	△9.0%
経常利益	226	10.0%	233	△7	△3.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	191	8.5%	134	+ 57	+42.5%

		2024年 中間期実績	2025年 中間期実績	2025年 期末想定
為替 レート	ドル	161.07円	144.81円	145.00円
	パーツ	4.36円	4.44円	4.20円
	カナダドル	117.42円	105.69円	105.00円

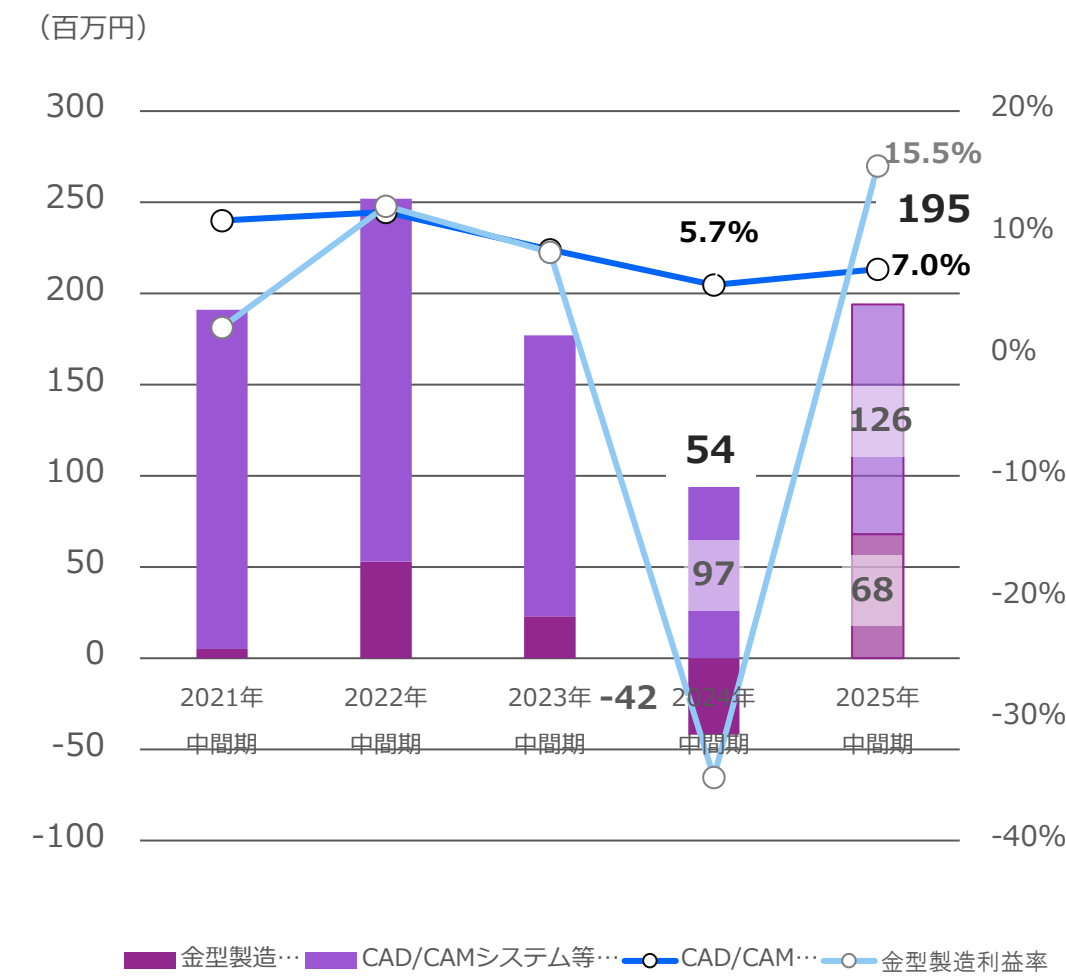
2024年 中間期実績	前年同期比	
	増減額	増減率
1,830	+ 419	+ 22.9%
54	+ 140	+ 255.9%
86	+ 140	+ 162.8%
39	+ 152	+ 386.8%

事業セグメント別売上高の推移（仕向地別）



売上高 (百万円)	2024年 中間期	2025年 中間期	売上比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	1,709	1,811	80.5%	+ 101	+ 5.9%
国内	1,447	1,524	67.7%	+ 76	+ 5.3%
海外	261	286	12.8%	+ 25	+ 9.6%
金型製造	121	439	19.5%	+ 317	+ 262.3%
合計	1,830	2,250	100.0%	+ 419	+ 22.9%

事業セグメント別利益の推移



科目 (百万円)	2024年 中間期	2025年 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM				
売上高	1,709	1,811	+ 101	+ 5.9%
営業利益	97	126	+ 29	+ 30.8%
営業利益率	5.7%	7.0%		
金型製造				
売上高	121	439	+ 317	+ 262.3%
営業利益	△42	68	+ 110	—
営業利益率	—	15.5%		
合計				
売上高	1,830	2,250	+ 419	+ 22.9%
営業利益	54	195	+ 140	+ 255.9%
営業利益率	3.0%	8.7%		

連結貸借対照表

自己資本比率53.6%で前年同期比+0.8pt

(百万円)	2024年 期末	2025年 中間期	増減
資産合計	6,047	5,978	△68
現金及び預金	2,866	2,644	△211
その他流動資産	1,067	1,124	+57
固定資産	2,114	2,209	+95
負債合計	2,816	2,713	△102
流動負債	1,420	1,358	△62
固定負債	1,395	1,354	△40
純資産	3,231	3,265	+33
負債・純資産合計	6,047	5,978	△68
自己資本比率 (%)	52.8%	53.6%	+0.8pt

資産の部：△68百万円

- ・受取手形、
売掛金及び契約資産 + 58百万円
- ・電子記録債権 + 48百万円
- ・繰延税金資産 + 65百万円
- ・現金及び預金△2億21百万円

負債の部：△1億2百万円

- ・契約負債△23百万円
- ・未払法人税等△19百万円
- ・退職給付に係る負債△35百万円

純資産の部：+33百万円

- ・中間純利益 + 1億91百万円
- ・配当金支払 △96百万円
- ・その他有価証券評価差額金△63百万円

連結キャッシュ・フロー計算書

	2024年 中間期	2025年 中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	135	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107	△97
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	△31
現金及び現金同等物の増減額	△33	△188
現金及び現金同等物の期首残高	2,772	2,789
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,738	2,600

フリーキャッシュフロー	34	△59
-------------	----	-----

営業CF

- ・ (増加)
税金等調整前中間純利益2億26百万円
：各事業の利益貢献
- ・ (減少) 売上債権の増加1億12百万円
- ・ (減少) 棚卸資産の増加50百万円

投資CF

- ・ (減少) 投資有価証券の取得による支出
99百万円

財務CF

- ・ (減少) 配当金の支払いによる支出
96百万円

03

組織再編について

製造業DXインテグレーター企業へ進化するための組織再編を実施

【将来を見据えた経営戦略】

■モノづくり(当社を取り巻く製造業)の変化と当社の経営戦略

- ・ 国内、アジア圏における金型CAD/CAM市場で自他共に認めるNo1シェアメーカーとなる。
- ・ 金型CAD/CAMメーカNo.1の優位性を活かして隣接市場参入へのスピードを加速させる。
- ・ 製造業のDX化ニーズ(自動化ニーズ)に応えた多角化経営を実現する。

CAD/CAMメーカーとしての技術革新を中核に据え、
「製造業DXインテグレーター企業」へ進化させる

現在
進行中

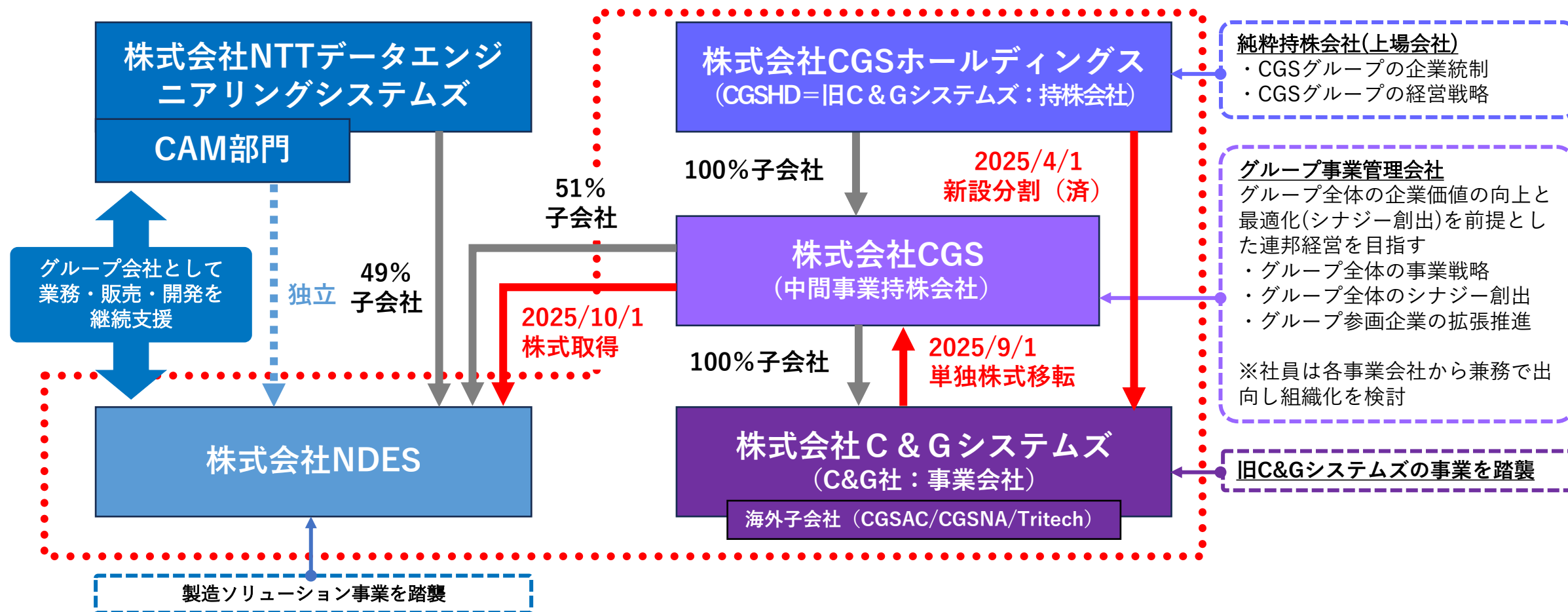
新スキームによる組織再編を実施

当社を純粋持株会社とし事業部門を新設分割、スピーディーな意思決定とグループ全体最適化を実現

中間事業持株会社設立により各事業のシナジー創出および研究開発スピードを向上

NTTデータエンジニアリングシステムズ社が設立予定のCAM事業会社の株式を取得し市場競争力を強化

再編スキームおよび各社の役割（2025年10月1日時点）



CGS社の設立およびNDES社の株式取得に向け現在準備中

経営シナジー

長期戦略で
100億円企業へ

- 組織再編により金型CAD/CAM業界トップシェアへ
- スケールメリットにより経営資源の効率化と企業価値の向上を図る
- 今後のグループ拡大により製造分野での事業の多角化、収益源を拡張

マーケットシナジー

CAD/CAM事業の最適化と
生産管理システム等の育成

CAD/CAM事業の最適化を推進

- 国内／海外における販売手法、クラウド／オンライン販売、商品ラインナップ等の最適化
- CAD/CAM適応分野(部品加工市場)での協業

生産管理システム事業、新規事業の育成促進

- AIQ+自動化システムの事業展開強化
- クラウド事業の拡張
- 新規事業の推進

開発シナジー

多重開発の抑制、
共同研究開発の推進

- CAD/CAMモジュール、アクティベーション、クラウド環境等の共同開発およびグループ内活用推進
- 将来を見据えた研究開発の推進と共同開発による生産効率向上

短期(～2028年)事業計画目標

組織再編に伴い金型CAD/CAM業界の
トップシェアの優位性を活かして
生産管理システム事業の強化と共にシナジー戦略を推進し
グループ全体で売上高70億円企業を目指す

中長期(～2030年)事業計画目標

CAD/CAM事業を中核に
新規事業強化戦略の一環として
CGSグループの拡大を積極的に実施し
グループ全体で売上高100億円企業を目指す

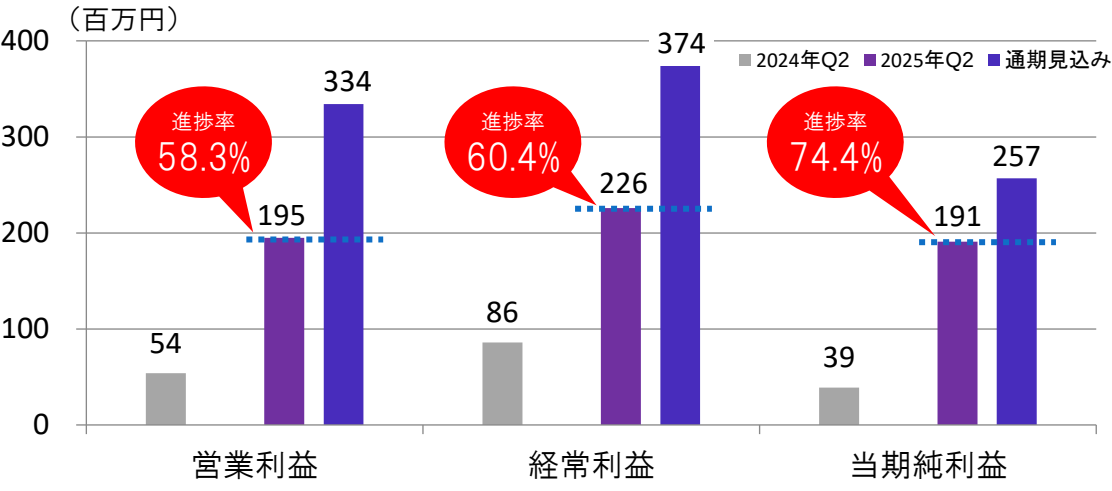
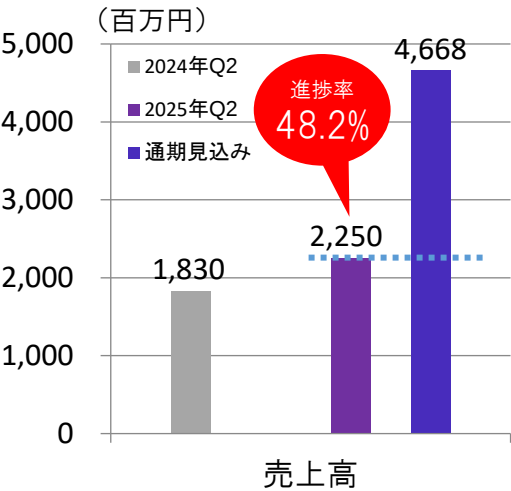
04

2025年12月期 通期業績見通し

2025年12月期 通期連結業績予想

連結通期業績予想：「親会社株主に帰属する当期純利益」のみ上方修正

(単位：百万円)	①2024年 中間期実績	②2025年 中間期実績	前年同期比	③2025年 通期見込み	予想に対する進捗率 (②÷③)
売上高	1,830	2,250	+419	4,668	48.2%
営業利益	54	195	+140	334	58.3%
経常利益	86	226	+140	374	60.4%
親会社株主に帰属する 中間／当期純利益	39	191	+152	257	74.4%



中間期に計上した
法人税等調整額の
減少分を加味

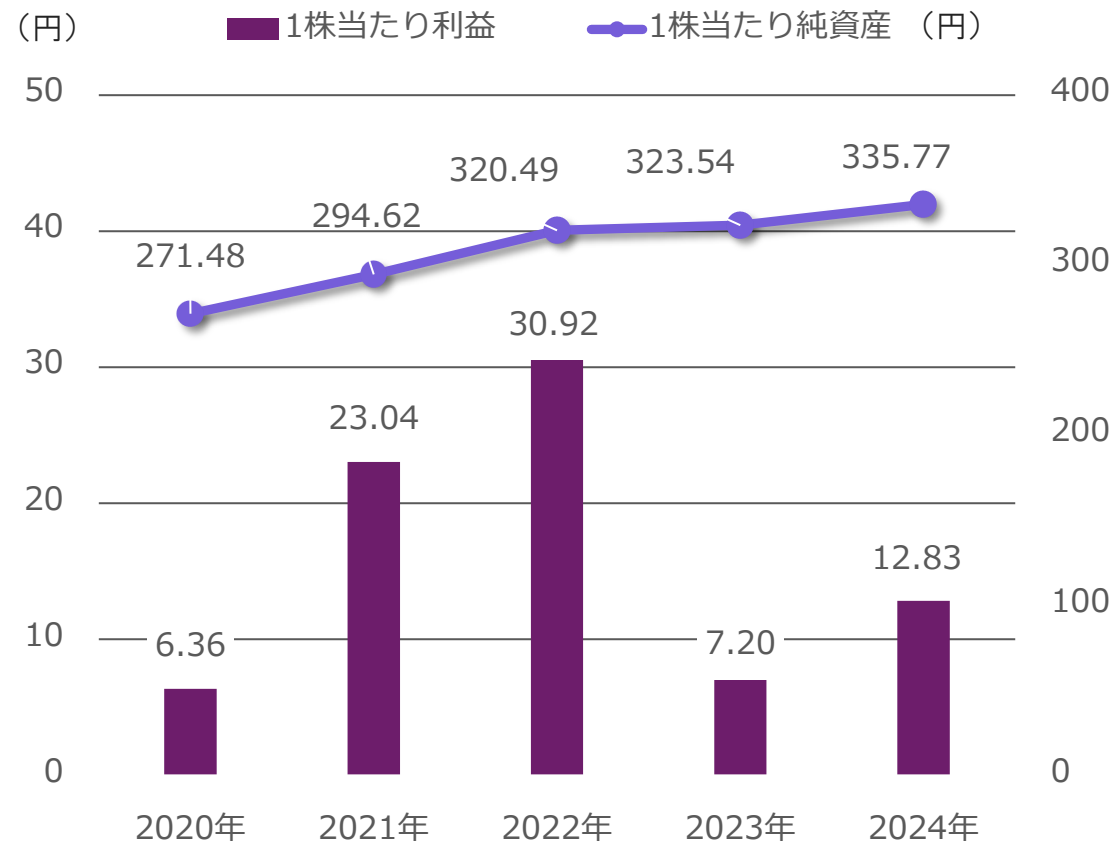
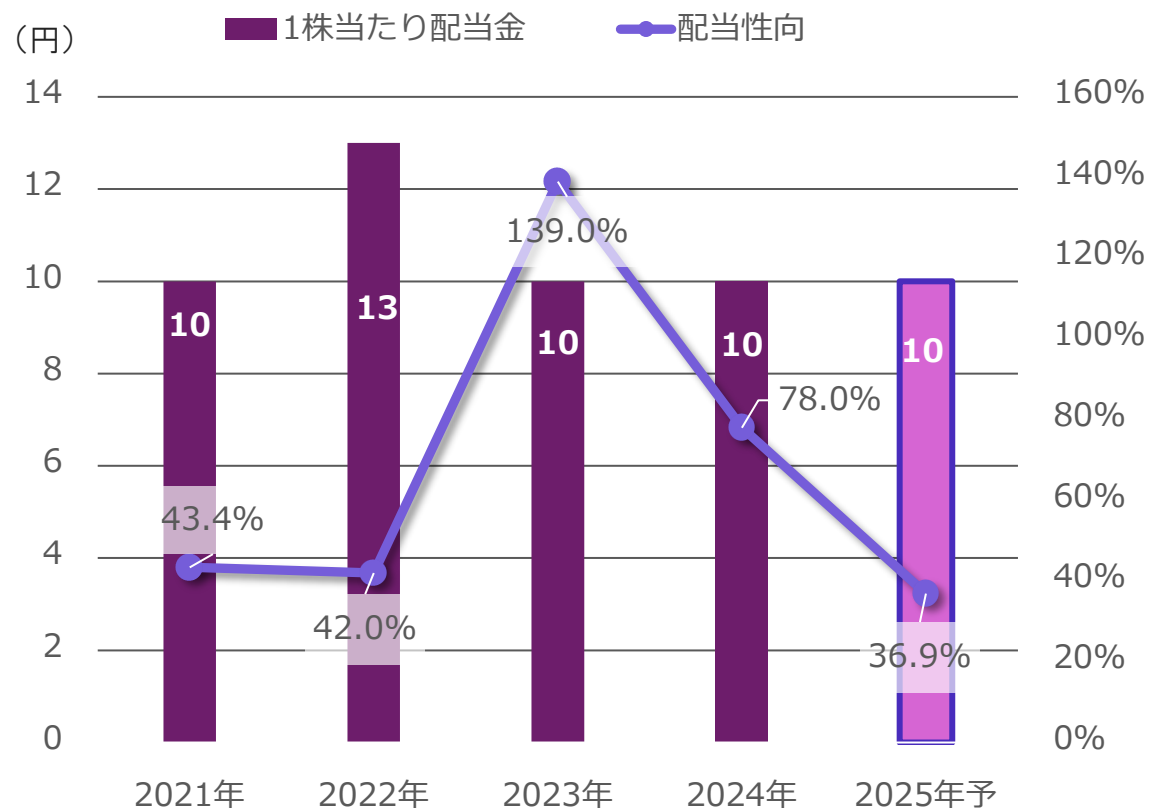
		2024年期末	2025年度 連結業績予想 レート
為替 レート	ドル	158.18円	145.00円
	パーツ	4.64円	4.20円
	カナダドル	109.77円	105.00円

05

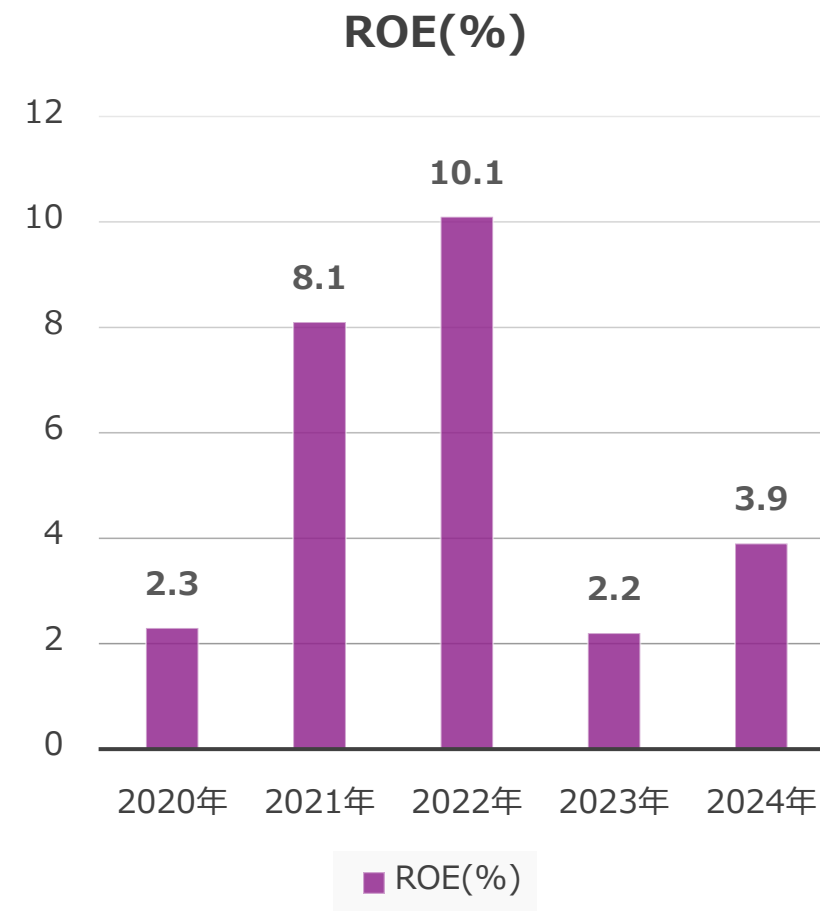
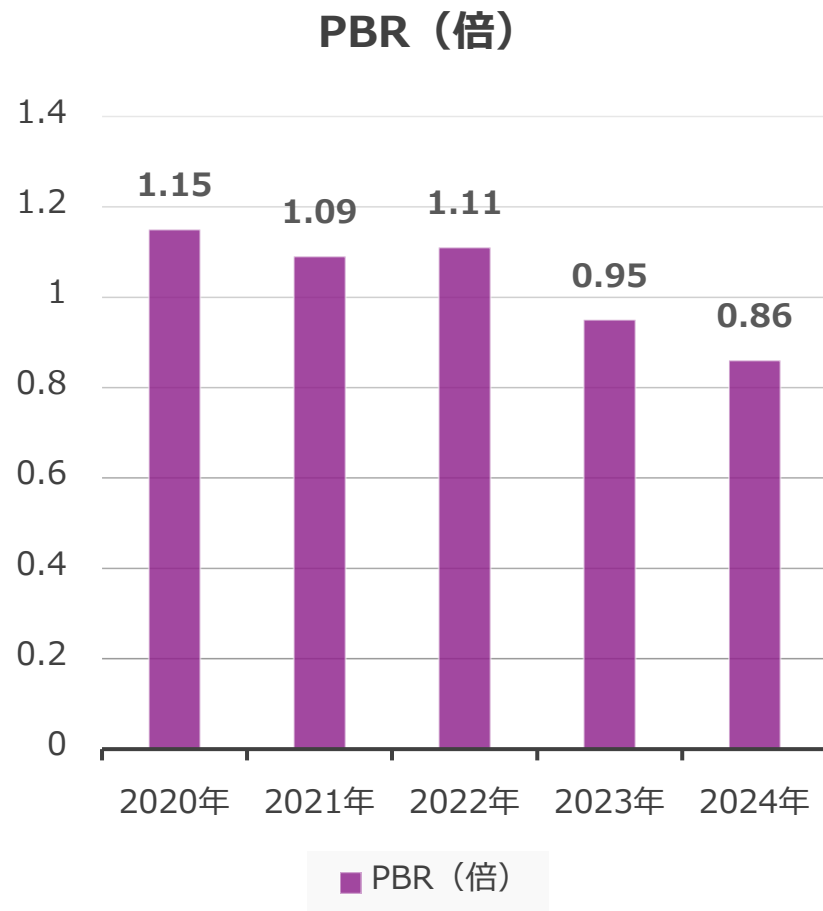
株主還元について

配当について

業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す



業績は前年同期と比較し改善したもののPBRは前年同期を下回る
収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す



本資料に関する お問合せ先

株式会社CGSホールディングス
管理部

E-mail : cgshdir@cgshd.co.jp

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したものです。その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。